



PHOTO : 樋渡 啓祐

撮りおろし「神の手」に会う

～中島 宏 先生～

重要無形文化財保持者（人間国宝）の中島宏先生といえば、陶芸、取り分け、青磁における日本の第一人者であり、武雄市西川登町弓野に居と窯を構えられています。

17世紀、武雄市は今以上に陶芸が盛んで、日本は勿論、アジアに主要な輸出品として取り扱われていました。佐賀には、有田、唐津、伊万里という世界的ブランドがあつて、僕自身、二十数年前、ヨーロッパを貧乏旅行していたときに、在籍している大学の名前は殆ど知られなかつた反面、出身が、有田や伊万里の「近く」と言うと、少なくとも、あ

るクラスの人たちからは、尊敬の念を持って、質問攻めされました。

しかし、当時も今も「武雄」と言ってもピンと来る人なんかいません。ましてや、焼き物では。しかし、見れば分かるんですが、有田、唐津、伊万里とは全く違う。文様から大きさから、武雄のものは、大らか、伸びやか、抽象的。今、見てもモダンそのもの。

中島先生は、「今は古武雄と称しているが、そのうち、常滑や萩、有田などと同じく、武雄と呼ばれる日が来ると確信している。」とお話されていました。

